

令和2年1月27日

各位

富山県産業技術研究開発センター
所 長 鳥山 素弘

とやまデジタルものづくり研究会
第2回プロセス応用WG 第2回造形技術WG 開催のご案内

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターの事業実施にあたり格別のご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。標記研究会を下記のとおり開催いたします。ご多忙の折とは存じますが多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

1. 日 時 令和2年2月20日(木) 午後1時30分～午後5時
2. 会 場 富山県産業技術研究開発センター ものづくり研究開発センター 多目的室
3. 内 容 **14:00-15:15 第2回プロセス応用WG**
演題：「最先端の3D スキャナで実現する新たなものづくり」
～設計・製造効率化のための3D スキャナ活用セミナー～
講師：株式会社データ・デザイン 技術部 余語 珠末 氏
概要：近年特に注目を集めている3D スキャナの基本から業界のトレンド、活用事例をご説明いたします。また、最新型のハンディタイプ3D スキャナーのご紹介や3D スキャナの実機、ソフトウェアもご体験いただけます。
15:15～15:30 休憩
15:30～17:00 第2回造形技術WG
演題：「金属3Dプリンターの課題とシミュレーションを用いたプロセス改善」
講師：サイバネットシステム株式会社 CAE事業本部 CAE第1事業部
技術支援部 技術サポート第2課 大澤 宜紀 氏
概要：金属 Additive Manufacturing (AM) には高機能化や軽量化などのメリットがある反面、過度のひずみやクラックなどの課題も多く、ボタン1つで狙った造形ができないのが現状です。本講演では、AMとは？といった概要から、シミュレーション (ANSYS) を用いた課題の解決方法について紹介します。
4. 受講対象 プロセス応用WG、造形技術WG 加入企業
その他参加申し込みのあった企業、団体など
5. 受講料 無 料
6. 申 込 別紙1「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、2月17日(月)までに、下記宛先まで、FAX、郵送または電子メールで送信ください。

<申込・問合せ先> 〒933-0981 富山県高岡市二上町150番地
富山県産業技術研究開発センター ものづくり研究開発センター
TEL 0766-21-2121、FAX 0766-21-2402
担当：デジタルものづくり課 住岡 (E-mail: sumioka@itc.pref.toyama.jp)
山本(E-mail: yamataka@itc.pref.toyama.jp)

以上

富山県産業技術研究開発センター
令和元年度とやまデジタルものづくり研究会

「第2回プロセス応用WG 第2回造形技術WG」参加申込書

日時： 令和2年2月20日（木）13：30～17：00

会場： 富山県産業技術研究開発センター 多目的室（富山県高岡市二上町150）

送信先 **FAX：0766-21-2402** 担当：住岡、山本

（企業・団体情報）

企業名／団体名	住所
	TEL: FAX:
	連絡担当者氏名 E-MAIL:

●企業・団体情報を下記の目的で利用してよい場合、同意欄へチェックをお願いします。

★利用目的

- ①技術講習会・研究会・研修・研究成果発表会の案内
- ②メールマガジン（以下メルマガ）配信

企業・団体情報を上記で取り扱うことに同意します。

（参加者情報）

所属・役職	氏名	メールアドレス
		<input type="checkbox"/> メールマガジンへの配信を同意します
		<input type="checkbox"/> メールマガジンへの配信を同意します

●参加者情報を下記の目的で利用してよい場合、同意欄へチェックをお願いします。

★利用目的

- ①メールマガジン（以下メルマガ）配信
（以前に登録された方につきましてもお手数ですがチェックをお願いします。）

<備考>

1. 本申込書に記載された個人情報は、受講者の確認や、やむを得ない事情により、日時、会場の変更があった場合にその連絡を行うために利用します。
2. 本申込書に記載された企業・団体名を名簿の形で講師に提供する予定です。
3. 本研究会に参加される方は、とやまデジタルものづくり研究会に登録され、事務局及び富山県が実施するアンケートにご協力をお願いする場合があります。（本事業は厚生労働省の補助金を財源の一部としており、新規雇用の状況などについてお尋ねさせていただく場合があります。）